

(科目コード : 2000920141Y3)

【改訂】第15版(2017-03-21)

【科目】歴史

【科目分類】 一般科目 【選択・必修の別】 必修 【学期・単位数】 通年・2単位

【対象学科・専攻】 3組 1年

【担当教員】 前期 : 宮川 剛
後期 : 宮川 剛

【授業目標】

現代世界の歴史的背景を学習することにより、現代世界の課題を見出し、その解決に向けて思考し、行動するための基礎的な知的訓練を積むことができる。

世界の国々の文化や社会の歴史的背景を学ぶことにより、グローバル化の時代にふさわしい教養・知識を身につけることができる。

現代の日本とは異なる過去の社会や人々の生活を学ぶことにより、物事について多様な角度からアプローチするための訓練を積むことができる。

歴史における人類の偉業ならびに愚行について考察することにより、これからの世界を形作るうえで必要な教訓を得ることができる。

【教育方針・授業概要】

・授業は主に講義形式で行なう。指定の教科書・資料集を用いて、主に近代以降の世界史に重点を置いて学習する。

・とくに後期の範囲では、日本史との関連にも留意して、授業を進める。

・基本的な歴史的事実を学習した後、担当教員との質疑応答のやり取りをつうじて、講義内容の理解を深めていく。学生には積極的に発言・質問することを期待する。

・授業中配布する資料や文章を読んだり、レポートを作成したりすることにより、思考力や文章表現力を鍛える。

【教科書・教材・参考書等】

教科書 : 世界史A : 東京書籍

資料集 : グローバルワイド最新世界史図表・全面改訂版 : 第一学習社

【授業形式・視聴覚・機器等の活用】

講義形式でおこなう。

【成績評価方法】

[前期] 中間試験 : 20% , 期末試験 : 20% , 課題など : 10%

[後期] 中間試験 : 20% , 期末試験 : 20% , 課題など : 10%

【本校の学習・教育目標】

(A-1) 人文社会系の科目の学習を通じて、人間文化と社会生活について理解する。

【授業計画】(歴史)

回数	授業の主題	内容	レポート	宿題
1回	イントロダクション	世界史を学ぶ意義について。		
2~3回	近代世界史概観	16~18世紀の世界史を概観する。		
4~7回	産業社会と国民国家の形成	・産業革命 ・アメリカの独立 ・フランス革命とナポレオン		
8回	前期中間試験			
9~10回	産業社会と国民国家の形成	・19世紀における自由主義とナショナリズムの高まり。		
11~15回	近代世界とアジア諸国	・19世紀における西アジア、インド、東アジア諸国の動向。		
16~17回	帝国主義の時代	・第二次産業革命。 ・帝国主義の成立。 ・アジアやアフリカにおける植民地化の動き。		
18~22回	第一次世界大戦とロシア革命	・第一次世界大戦勃発の背景。 ・第一次世界大戦の影響。 ・ロシア革命。		
23回	後期中間試験			
24~27回	戦間期の世界	・ヴェルサイユ体制の成立。 ・大戦後の合衆国とヨーロッパ。 ・アジアの民族独立運動。 ・世界恐慌とファシズムの台頭。		
28~30回	第二次世界大戦	・第二次世界大戦の勃発。 ・第二次世界大戦下の諸地域。 ・大戦の終結と戦後構想。		